

VOL.
16

Renovation Journal

リノベーション・ジャーナル

業界動向から最新ノウハウまで

DIY×リノベ

[企画・設計] 実用テクニック



要点 7 廉価で印象的な什器で空間をつくる

印象的な什器があれば建物に手を入れずに象徴的な空間ができる。工費が高まないようにDIY可能な材料と納まりで設計する



インニッサン(30×40mm)をジャングルジムのように組んでOSBの棚板を載せた什器

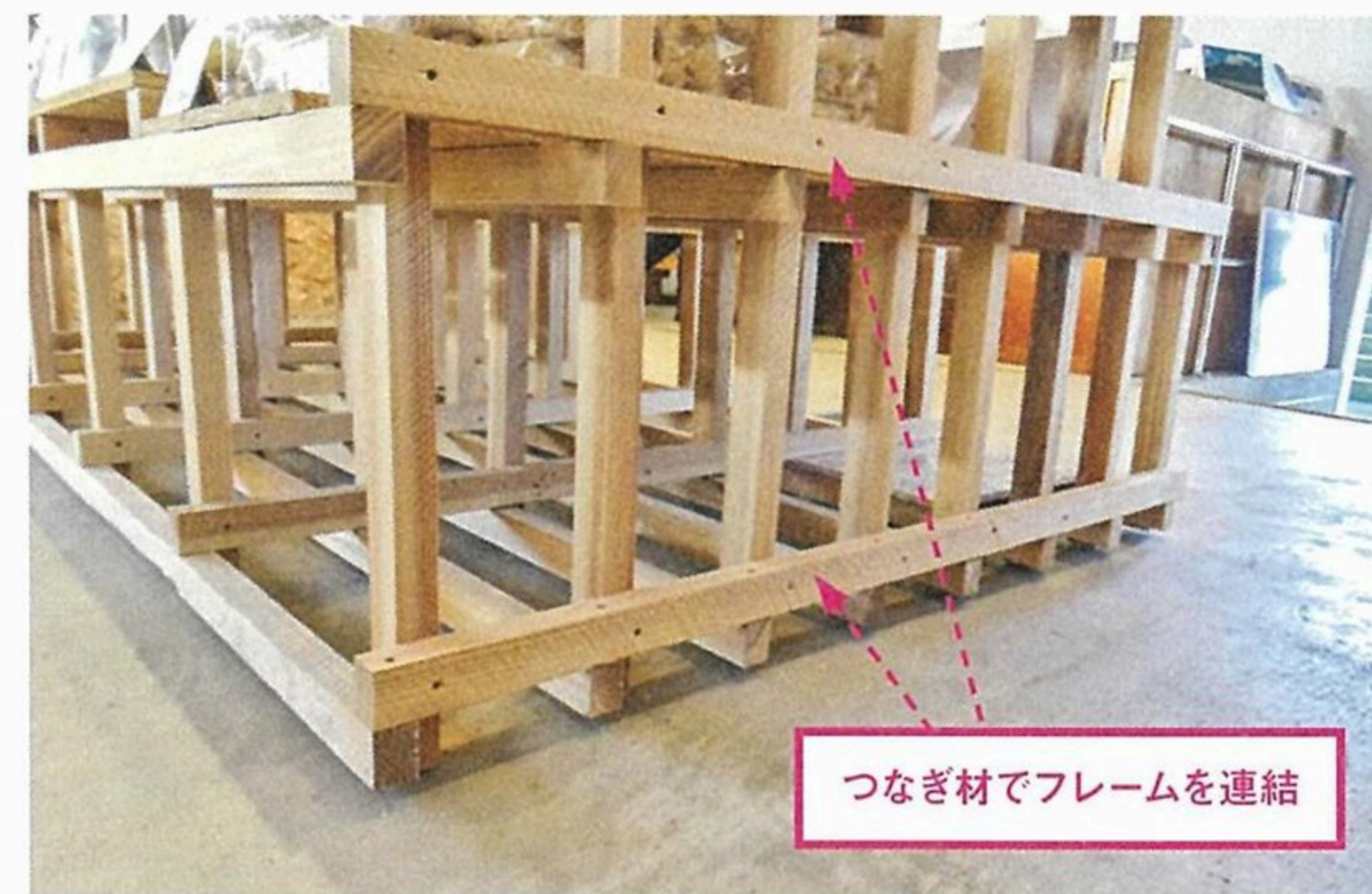


スペースの中央に印象的な什器が置かれることで、スペース固有の雰囲気生まれる

固定はしていない



OSBを棚板に用いた什器。壁に立て掛けるだけのシンプルな設置



つなぎ材でフレームを連結

四角いフレームをつなぎ材で連結して一体化している



什器の詳細。L型に組んだ棚板を支持するツーバイ材にビスで固定



要点 6 備品の家具を全面的に活用する

大規模施設には大量の備品が付きもの。木製家具などは加工しやすく転用が効くのでなるべく再利用する。安価な新品家具より個性になる



背板・側板はムク材。時代を感じさせる

学校備品の収納の扉を外して使用

受け材

棚板周辺の納まり

「家苞(いえづと)」の什器の一部は教室の収納の扉を外したものだ。背板や側板がムク材なのでさになる

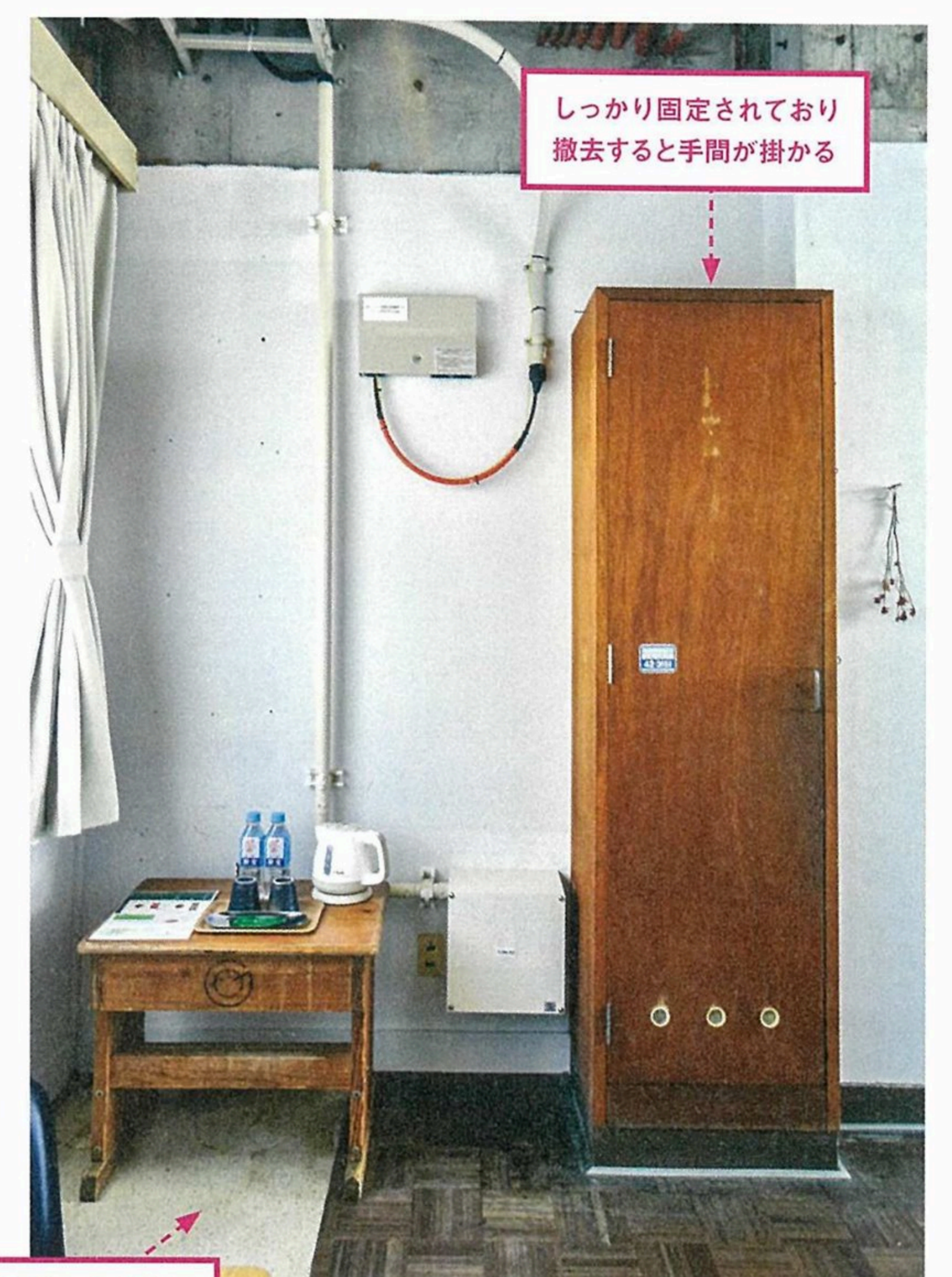


収納家具は配置も既存のままにしている

教員室などの収納を客室の備品入れとして再利用



生徒用のロッカーもそのまま備え付けている



しっかり固定されており撤去すると手間が掛かる

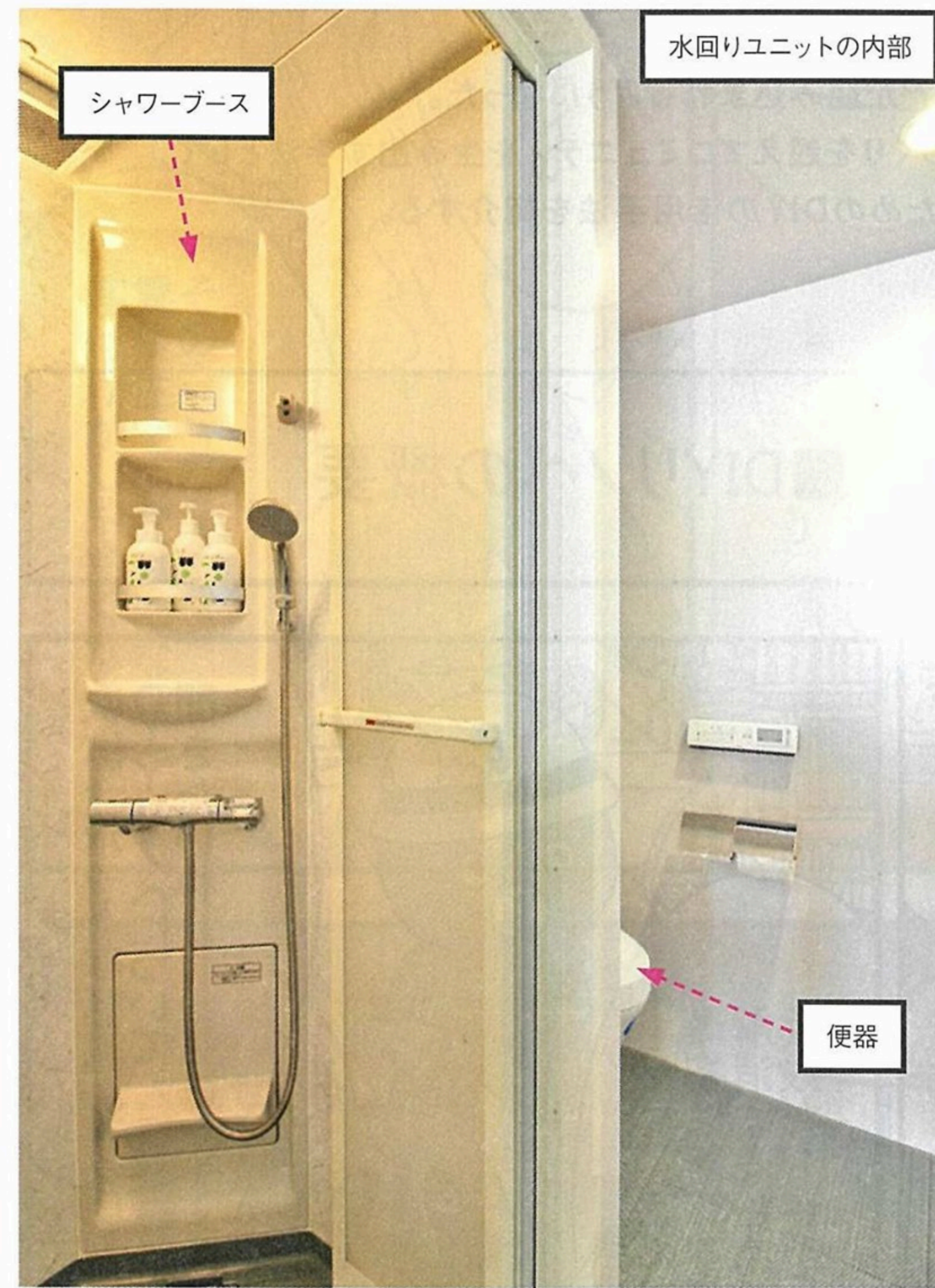
収納を撤去したときに床材も撤去

掃除用具入れを客室のロッカーとして再利用している



要点 9 水回りユニット+天井給排水

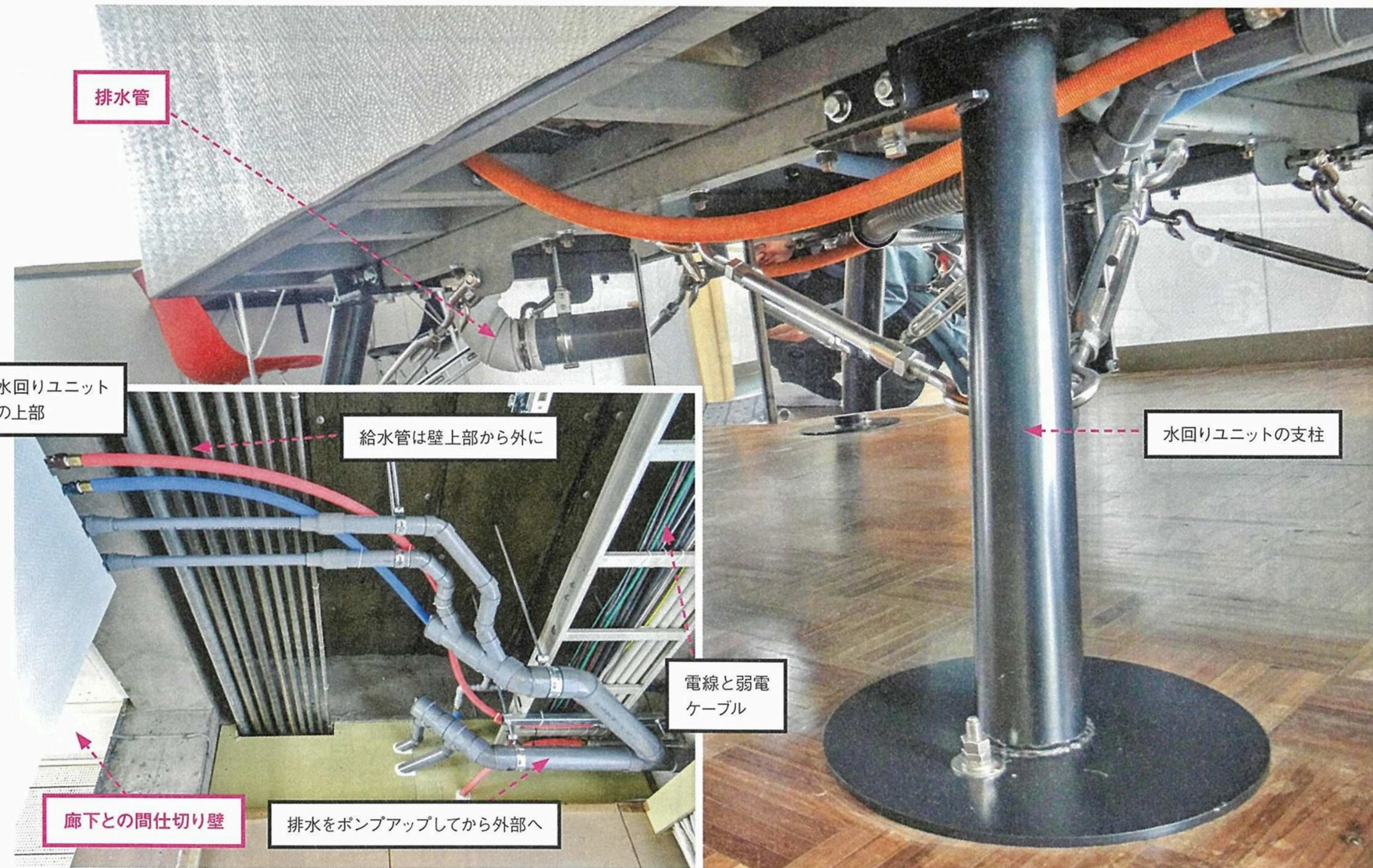
用途を変更する場合、制約を受けるのが給排水。床下ではなく天井から給排水できる装置を入れることで水回りの新設が容易になる



シャワーブースとトイレが一体となっている



個室タイプの客室には箱型の水回りユニットを設置



水回りユニットの下部。ポンプアップして壁から排水しているため床面に給排水管が立ち上がっていない。このシステムを使えば水回りの設置の自由度が高まる



要点 8 家具は建築化せずに床に置くだけに

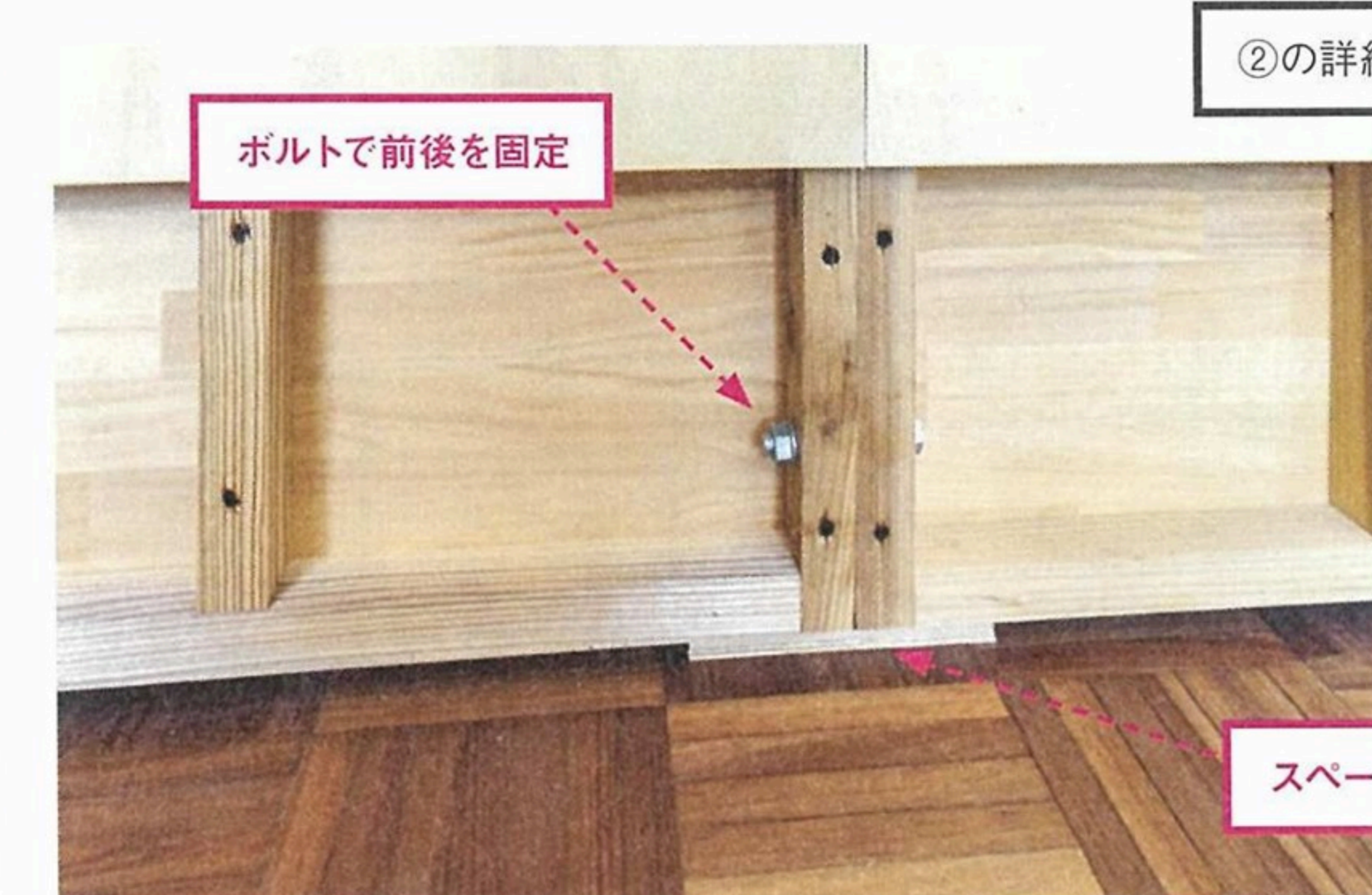
ベッドなどの大型家具は造り付けとせずにユニット化して置くだけに。このことで床・壁・天井を触らずに済むので工事費を抑えられる



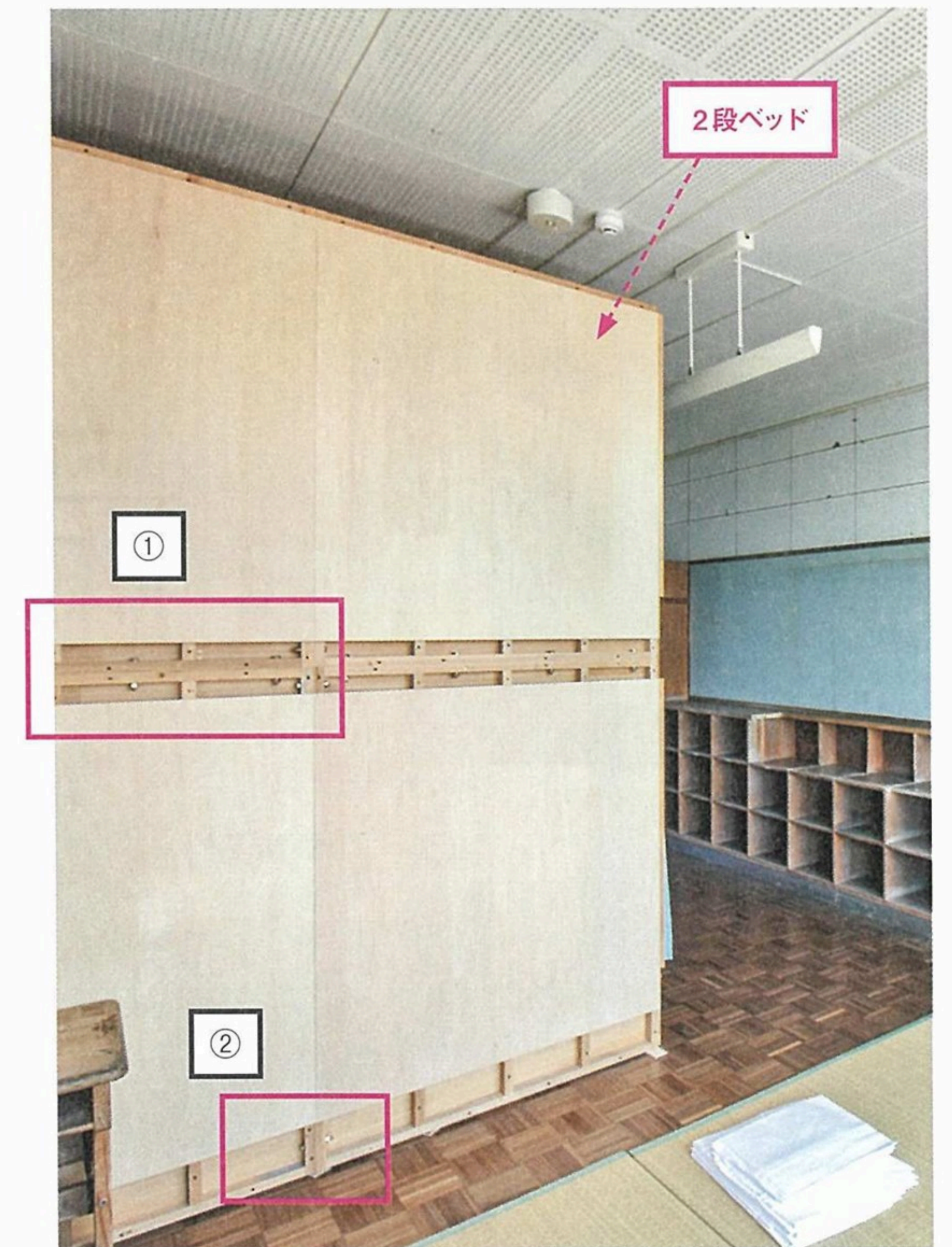
ドミトリータイプの客室。ユニット化した2段ベッドを設置している



上下の連結部の納まり。ずれないようにボルトで連結



脚部の納まり。前後の連結部の下部にスペースを噛ましている



ベッドの上下・前後で別々のユニットになっており、ボルトで連結して一体化する

Renovation for Plan, design, the construction spot

Renovation for Plan, design, the construction spot